

2025 年 4 月 4 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

国内公募無担保社債（グリーンボンド）の発行条件の決定について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、本日、「MUFG 本館^[1]」の建設関連資金を資金使途とした「株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 14 回期限前償還条項付無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）（グリーンボンド）」（以下 本グリーンボンド）の発行条件を決定いたしました。

1. 背景

MUFG は、2024 年 3 月、「MUFG 本館」を建設するにあたり、建設関連資金を資金使途とした「グリーンファイナンスフレームワーク^[2]」（以下 本フレームワーク）を策定しました。

本フレームワークは、第三者評価機関である JCR よりセカンド・パーティ・オピニオン^[3]を取得しており、国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）が公表する「グリーンボンド原則 2021（GBP）^[4]」と、ローンマーケットアソシエーション（LMA）、アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）による「グリーンローン原則 2023（GLP）^[5]」の基準に該当するものと認められております。

2. 目的・概要

本グリーンボンドの発行により調達された資金は、MUFG の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行に対する融資を通じて、「MUFG 本館」の建設関連資金に充当することを予定しております。

「MUFG 本館」は、LEED®^[6]認証をはじめとする認証制度の取得をめざしており、SDGs やカーボンニュートラルへの対応として、持続可能な社会の実現や環境負荷の低減に積極的に貢献する建築計画となっています。

「MUFG 本館」は、「世界が進むチカラになる。」というパーパス（存在意義）のもと、全てのステークホルダーに対し、開かれ、つながることで「MUFG の象徴」となることをめざしています。MUFG は、本グリーンボンドの発行を通じて、持続可能な社会の実現・環境負荷低減に寄与する「MUFG 本館」を創り、グループ一体となってお客さまや地域・社会をはじめとする全てのステークホルダーに貢献してまいります。

《株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 14 回期限前償還条項付無担保社債 発行概要》

銘柄	株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 14 回期限前償還条項付無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）（グリーンボンド）
社債の総額	165 億円
年限（ノンコール期間）	11 年（10 年）
各社債の金額	1 億円
発行価格	額面 100 円につき金 100 円
利率	2035 年 4 月 11 日まで 1.881%、以降 6 ヶ月日本円 TIBOR+0.594%
条件決定日	2025 年 4 月 4 日
払込日	2025 年 4 月 11 日
償還日	2036 年 4 月 11 日
利払日	毎年 4 月 11 日および 10 月 11 日
手取金の使途	全額を連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行への貸出を通じて当社本館の建設関連資金への新規または既存の資金に充当予定
引受証券会社	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（主幹事会社）
ストラクチャリング・エージェント ^[7]	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
財務代理人	株式会社三菱 UFJ 銀行
振替機関	株式会社証券保管振替機構

- [1] 「MUFG 本館」については下記リンクをご参照ください。
https://www.mufig.jp/dam/pressrelease/2024/pdf/news-20240315-001_ja.pdf
- [2] グリーンファイナンスフレームワークについては下記リンクをご参照ください。
https://www.mufig.jp/ir/fixed_income/greenbond/framework_for_mufigbldg/index.html
- [3] JCR によるセカンド・パーティ・オピニオンについては下記リンクをご参照ください。
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>
- [4] グリーンボンドの透明性の確保、情報開示及びレポーティングを推奨し、市場の秩序を促進させることを目的に、国際資本市場協会（ICMA）が策定した自主的ガイドライン。
- [5] ローンマーケットアソシエーション（LMA）、アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）が策定したグリーンローン借入に関する自主的ガイドライン。
- [6] 米国グリーンビルディング協会 USGBC®（U.S Green Building Council）が開発・運用し、GBCI（Green Building Certification）が審査する認証制度。
- [7] フレームワークの策定およびセカンド・パーティ・オピニオン取得に関する助言等を通じて、グリーンボンドなどの発行支援を行うもの。

以 上

ご注意：この文章は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ第 14 回無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）（グリーンボンド）の発行に関して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。